

## 平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ネクシーズ

コード番号 4346 URL <http://www.nexyz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘

TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	1,994	47.4	43	—	53	—	22	—
21年9月期第1四半期	1,352	—	△98	—	△103	—	△111	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	17.52	—
21年9月期第1四半期	△90.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	7,838	4,471	25.5	1,575.34
21年9月期	7,906	4,591	25.8	1,616.80

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 1,995百万円 21年9月期 2,037百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	60.00	—	65.00	125.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	0.00	—	125.00	125.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	3,800	33.8	△90	—	△100	—	△120	—	△94.74
通期	8,000	16.8	20	—	0	—	△150	—	△118.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第1四半期 1,341,364株 21年9月期 1,341,364株

② 期末自己株式数 22年9月期第1四半期 74,769株 21年9月期 81,035株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第1四半期 1,262,520株 21年9月期第1四半期 1,227,542株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 1株当たり(予想)当期純利益につきましては、将来の自己株式数の減少を期中平均株式数に反映させることが困難なため、以下の方法で算出しております。

<1株当たり(予想)当期純利益>

普通株式に係る予想当期純利益÷(期末発行済株式数－自己株式数)

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、世界的な金融危機による景気低迷が続く中、景気対策等により一部経済指標に改善の兆しはみられるものの、企業収益の減少や雇用情勢の悪化などにより、依然として厳しい状況が続いております。GDPの伸び率は、09年7月～9月に0.3%増となり、消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比 1.7%～ 2.2%の間で推移し、デフレによる値下げ競争が激しさを増している状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは事業の種類別セグメントの持つ特性を最大限に活かし、それぞれを成長発展させることでグループの企業価値の向上に努めております。

当社グループの事業の種類別セグメントは、ブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の3つに区分しております。

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供および加入希望者の獲得を行っております。

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」の提供のほか、金融商品仲介業務、保険代理店業務、業務用食品卸業支援等の企業の販売促進に関わる業務を行っております。

文化教育事業では、ハクビ総合学院による、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売が主な業務であります。

当第1四半期連結会計期間においては、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得が堅調に推移し、会員が16万人を超えて増加いたしました。旅行ウェブマガジン「旅色」では新規営業に引き続き注力したことで広告クライアントが増加傾向にありました。その他の各業務についても概ね堅調に推移いたしました。また、前第3四半期連結会計期間に株式会社ハクビを連結子会社化したことで、売上高が増加いたしました。一方で、前連結会計年度より引き続き当社グループ内の費用削減に取り組んでおり、賃借料を中心に販管費が圧縮されました。

これらの結果、売上高1,994百万円（前年同期比47.4%増）、営業利益43百万円（前年同四半期営業損失98百万円）、経常利益53百万円（前年同四半期経常損失103百万円）となり、四半期純利益は22百万円（前年同四半期純損失111百万円）となり、損益が黒字化いたしました。

当第1四半期連結会計期間における事業の種類別セグメント情報の概況は次のとおりです。

#### [ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

同サービスでは、テレマーケティングによる営業を中心に新規の加入希望者獲得に注力しております。

第1四半期連結会計期間は、会員を堅調に獲得できたことで、インフラの提供会社からの受付手数料も堅調に推移いたしました。また、「Nexyz.BB」の会員が16万人を超える規模に成長し、会員から安定したISP料金を引き続き得ることができました。そのため、同事業の新規の加入希望者獲得のための営業の費用が先行していた状況が改善傾向にあります。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高792百万円、営業利益30百万円となりました。

#### [ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進を行っております。

同事業の旅行ウェブマガジン「旅色」では、全国をブロック別に区分して観光情報、レジャー、グルメ、宿泊施設をまとめた冬号を発刊いたしました。また、大手ウェブサイトとの共同企画や、テレビ番組での紹介など露出度も高めてまいりました。広告クライアントとの契約数については、前連結会計年度から引き続き新規クライアントの開拓に注力したほか、既存クライアントの年間契約の更新もあったことで契約数が増加傾向にありました。しかしながら、当第1四半期連結会計期間においては、先行費用として制作費と人件費が広告掲載による収入を上回る状況は続いております。

金融商品仲介業務、業務用食品卸業支援では安定した取引高と手数料収入が得られたほか、保険代理店業務も緩やかに改善傾向にありました。また、法人向けの販売促進支援としてホームページ構築やECサイト運営管理、テレマーケティングに関する業務を堅調に受注することができました。情報通信サービスのキャリアから継続して得られる手数料収入については、利用者の解約に伴う自然減がありました。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高594百万円、営業利益87百万円となりました。

#### [文化教育事業]

文化教育事業は、きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売を行っております。この事業は前連結会計年度に株式会社ハクビを子会社化したことにより新たに参入した事業であります。

同事業では、教室運営において生徒数が維持できており、月謝等の安定的な収入がありました。また、成人式の前撮り業務や、卒業式の袴レンタル受付業務などを行っております。10月にちぎり絵の展示会を開催し好評を得たほか、12月には生徒募集施策の一つとして、和文化をテーマにしたフリーマガジン「Kiino(きいの)」を創刊すると同時に、ホームページのリニューアルを行いました。

これらの結果、文化教育事業は、売上高658百万円、営業利益24百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は7,838百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円の減少となりました。

流動資産は4,994百万円となり、前連結会計年度末に比べて13百万円の減少となりました。これは主に社債の償還や配当金の支払い、少数株主への配当等により現金及び預金が159百万円減少した一方で、売上高の増加により売掛金が72百万円増加したことや、前払費用が40百万円、未収法人税等が17百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は2,844百万円となり、前連結会計年度末に比べて54百万円の減少となりました。これは主に支店の移転に伴い固定資産を除却したこと等により工具、器具及び備品が24百万円減少したことや、ソフトウェアが減価償却により18百万円、賃借料が下がった事に伴い敷金が21百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

流動負債は3,274百万円となり、前連結会計年度末に比べて96百万円の増加となりました。これは主に1年内償還予定の社債が80百万円減少した一方で、買掛金が32百万円、支店の移転等で未払金が77百万円、配当に伴う源泉所得税等に関する預り金が45百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は93百万円となり、前連結会計年度末に比べて44百万円の減少となりました。これは主に社債を1年内償還予定の社債に組み替えたことで社債が40百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,471百万円となり、前連結会計年度末比119百万円の減少となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

まず、損益が黒字化し四半期純利益を22百万円計上した一方で、期末の配当を行ったこと、中間法人ネクシィーズ従業員持株事業体が保有する当社株式をネクシィーズ従業員持株会に譲渡した際に、自己株式処分差額が発生したこと等により、利益剰余金が108百万円減少いたしました。また、ネクシィーズ従業員持株会への譲渡により自己株式が64百万円減少いたしました。

そして、連結子会社で配当があったこと等に伴い少数株主持分が77百万円減少しております。

以上により流動比率は152.5%となり前連結会計年度末比5.1ポイント低下いたしました。株主資本比率は、25.5%となり前連結会計年度末比0.3ポイント低下いたしました。時価ベースの株主資本比率は36.6%となり前連結会計年度末比18.2ポイント低下いたしました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は2,978百万円となり、前連結会計年度末残高3,138百万円と比較して、159百万円の減少となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は104百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額58百万円を計上した一方で、税金等調整前四半期純利益39百万円、仕入債務の増加額32百万円、未払消費税等の増加額7百万円を計上いたしました。

また、非現金支出項目として減価償却費56百万円、解約調整引当金の増加額13百万円、固定資産除却損8百万円等を計上したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は2百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2百万円、長期前払費用の取得による支出1百万円があった一方で、出資金の分配による収入2百万円があったことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は262百万円となりました。これは主に、社債の償還による支出120百万円、配当金の支払額69百万円、少数株主への配当金の支払額88百万円が発生したことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

#### [ブロードバンド事業]

インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の営業に引き続き注力することで、会員数が増大し、ISP料金収入についても概ね堅調に増加するものと予想されます。また、会員数の増加に伴うサーバーの容量拡張のための費用が見込まれる一方で、経費削減に取り組んできた結果、原価で計上している人件費や電話通信費、原価、販売費及び一般管理費それぞれで計上している賃借料等の営業費用が圧縮される見込みであります。その他、第2四半期会計期間（1月～3月）は営業日数が少ないため、売上の伸びが限定的になることや、第3四半期会計期間（4月～6月）は営業未経験の新卒社員を増員するため、原価である人件費の増加と一時的な営業効率の低下が見込まれます。なお、営業効率の低下については、第4四半期には改善される見込みであります。

#### [ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、引き続き旅行ウェブマガジン「旅色」の旅館やホテル等の広告クライアントの新規開拓に取り組むほか、金融商品仲介、業務用食品卸業支援、保険代理店業務についても収益の増大を図ってまいります。これらの業務について、好不調はあるものの全体として業績が概ね改善していくものと見込まれます。一方で、情報通信サービスのキャリアから継続して得られる手数料収入については、利用者の解約に伴う自然減が見込まれます。

#### [文化教育事業]

文化教育事業では、平成21年4月に株式会社ハクビを子会社化したため、同社の業績が前連結会計年度は4月からの半期だけ反映されておりましたが、当連結会計年度は通期で反映されます。そのため、売上高が増加する見込みであります。損益につきましては、第2四半期会計期間（1月～3月）において、文化教育事業で毎年の時期的な要因で催事等が少なく、売上が上がりにくくなるため、固定費の負担が相対的に大きくなります。一方で第4四半期会計期間（6月～9月）に催事の開催等が重なるため収益の大半が集中するものと見込まれます。

以上のような各事業の状況から、事業によって時期的な変動があるものの、売上高は主に「Nexyz.BB」の会員数増加に伴うISP料金収入の増加や、株式会社ハクビの売上が通期で業績に反映されることから、売上高は、8,000百万円と前年同期比16.8%の増収を予想しております。

損益については、事業拡大に必要不可欠な「Nexyz.BB」や「旅色」に伴う営業費用負担が見込まれますが、グループ全体で経費の圧縮に努めてきた結果、営業費用を全体的に抑えた効率的な経営が可能となる見込みであります。

なお、平成22年9月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月13日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はございません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結貸借対照表の表示方法の変更

「未払法人税等」は、前第1四半期連結累計期間において流動負債に区分掲記しておりましたが、当第1四半期連結累計期間において、資産の総額の100分の1以下であり、重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「未払法人税等」の金額は36,660千円であります。

四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「受取利息」は、前第1四半期連結累計期間において営業外収益に区分掲記しておりましたが、当第1四半期連結累計期間において、営業外収益の総額の100分の20以下であり、重要性が乏しいため、営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「受取利息」の金額は285千円であります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の表示方法の変更

前第1四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「たな卸資産の増減額(は増加)」及び「仕入債務の増減額(は減少)」は、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より区分掲記することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間の「たな卸資産の増減額(は増加)」及び「仕入債務の増減額(は減少)」の金額は、それぞれ120千円及び482千円であります。

また、「受取利息及び受取配当金」は、前第1四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローに区分掲記しておりましたが、重要性が乏しいため、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「受取利息及び受取配当金」の金額は285千円であります。



5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,224,071	3,384,055
受取手形及び売掛金	957,148	884,834
商品	123,602	122,054
未収入金	538,925	522,579
その他	180,892	122,223
貸倒引当金	30,235	27,809
流動資産合計	4,994,405	5,007,937
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	336,930	361,684
その他(純額)	265,710	270,019
有形固定資産合計	602,640	631,703
無形固定資産		
のれん	205,650	211,316
その他	140,462	158,754
無形固定資産合計	346,113	370,070
投資その他の資産		
投資有価証券	945,327	943,586
敷金及び保証金	561,508	582,623
繰延税金資産	136,226	120,558
その他	334,994	332,545
貸倒引当金	82,520	82,520
投資その他の資産合計	1,895,537	1,896,793
固定資産合計	2,844,291	2,898,567
資産合計	7,838,696	7,906,505
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	337,610	304,937
短期借入金	1,189,068	1,189,068
1年内償還予定の社債	160,000	240,000
未払金	808,808	731,670
解約調整引当金	317,041	303,870
その他	461,577	407,919
流動負債合計	3,274,106	3,177,467
固定負債		
社債	-	40,000
その他	93,030	97,700
固定負債合計	93,030	137,700
負債合計	3,367,136	3,315,167

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,653,660	4,653,660
資本剰余金	4,439,468	4,439,468
利益剰余金	6,731,002	6,622,457
自己株式	351,855	416,489
株主資本合計	2,010,270	2,054,182
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,949	16,487
評価・換算差額等合計	14,949	16,487
少数株主持分	2,476,238	2,553,643
純資産合計	4,471,560	4,591,338
負債純資産合計	7,838,696	7,906,505

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,352,937	1,994,499
売上原価	765,697	1,160,288
売上総利益	587,240	834,211
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	138,175	211,181
賃借料	171,691	150,550
減価償却費	53,262	40,350
その他	322,285	388,634
販売費及び一般管理費合計	685,415	790,715
営業利益又は営業損失( )	98,174	43,495
営業外収益		
受取利息	540	-
受取手数料	956	878
投資事業組合運用益	-	2,640
消費税等差額	-	6,152
その他	283	2,207
営業外収益合計	1,780	11,878
営業外費用		
支払利息	6,775	1,490
その他	329	250
営業外費用合計	7,104	1,741
経常利益又は経常損失( )	103,498	53,632
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
固定資産除却損	46,583	8,373
事業整理損	-	5,441
投資有価証券評価損	11,395	-
特別損失合計	57,979	13,815
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	161,478	39,816
法人税、住民税及び事業税	13,970	19,868
法人税等調整額	45,551	13,501
法人税等合計	31,581	6,367
少数株主利益又は少数株主損失( )	18,338	11,335
四半期純利益又は四半期純損失( )	111,558	22,113

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	161,478	39,816
減価償却費	71,364	56,250
のれん償却額	8,078	5,665
解約調整引当金の増減額( は減少)	85,888	13,170
貸倒引当金の増減額( は減少)	2,065	2,426
受取利息及び受取配当金	540	-
支払利息	6,775	1,490
投資事業組合運用損益( は益)	-	2,640
投資有価証券評価損益( は益)	11,395	-
固定資産除却損	46,583	8,373
事業整理損失	-	5,441
売上債権の増減額( は増加)	96,844	50,254
たな卸資産の増減額( は増加)	-	1,347
仕入債務の増減額( は減少)	-	32,672
未払消費税等の増減額( は減少)	48,013	7,852
その他	16,008	46,833
小計	68,821	165,753
利息及び配当金の受取額	1,856	867
利息の支払額	7,826	2,992
法人税等の支払額	47,005	58,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,797	104,849
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	378,020	-
定期預金の預入による支出	245,967	-
投資有価証券の取得による支出	1,000	203
出資金の分配による収入	-	2,640
有形固定資産の取得による支出	2,927	2,033
無形固定資産の取得による支出	11,280	386
長期前払費用の取得による支出	1,996	1,996
その他の支出	1,195	496
投資活動によるキャッシュ・フロー	113,653	2,475
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	500,000	-
社債の償還による支出	620,000	120,000
配当金の支払額	155,849	69,032
少数株主への配当金の支払額	-	88,740
自己株式の処分による収入	18,905	15,670
その他の支出	-	254
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,256,944	262,357
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,265,087	159,984
現金及び現金同等物の期首残高	5,087,967	3,138,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,822,879	2,978,104

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

当社グループは情報技術を利用した各種サービスを営んでおり、単一セグメントに属しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	ブロードバンド事業 (千円)	ソリューションサービス事業 (千円)	文化教育事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	774,658	561,186	658,655	1,994,499		1,994,499
(2) セグメント間の 内部売上高	18,226	33,198		51,424	(51,424)	
計	792,884	594,384	658,655	2,045,924	(51,424)	1,994,499
営業費用	762,788	507,153	633,694	1,903,636	47,367	1,951,004
営業利益	30,095	87,231	24,960	142,287	(98,792)	43,495

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

事業セグメント名	主な事業の内容	主要な事業会社
ブロードバンド事業	インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供、加入希望者の獲得、付帯するサービスの提供	㈱Nexyz.BB ㈱ネクシィーズ・コミュニケーションズ
ソリューションサービス事業	製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、コンサルティング業務	㈱ネクシィーズ アイデアキューブ㈱ ㈱ネクシィーズ・トレード ㈱ソニア・パートナーズ ㈱ユーシーシー・ネクシィーズ ㈱ブランジスタ ㈱Nexyz.VP
文化教育事業	きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売	㈱ハクビ ㈱美楽衣

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。